

夏から秋へと季節は移り、特に10月は晴れる日が少なく週末は雨模様が続きました。朝晩の冷え込みと日中との気温差に気を付け体調管理に努めてまいりましょう。

今年は夏が長く気が付けば木枯らしの便りが聞かれる頃となりました。実りの秋にふさわしく11月はすっきりと晴れ、戸外での遊びが充実していけるようにと願っています。

行事予定

乳児健診(ベガクラス対象) 11/12(水)・11/26(水)

歯科健診(全クラス対象) 11/19(水)

8:30までの登園をお願い致します。

身体測定週間

リゲル 11/4(火)～11/7(金)

スピカ 11/10(月)～11/14(金)

ベガ 11/17(月)～11/21(金)

絵本返却

避難訓練 11/28(金)

11/26(水)

(地震による近隣火災想定／第二避難場所更級公園)への避難)

2025.10.31(金)

春保育園

2025年10/23(木)今年の親子であそぼう会のテーマは子どもたちが大好きな絵本、「おーい かばくん」。たくさん親しんできた絵本の世界を題材に、活動を準備してきました。当日の様子を写真で、保護者アンケートや連絡ノートから感想やエピソードを紹介させていただきます！

おーい リゲルさん！  
いっしょにあそぼう★

テラスに上がった時たくさんの製作物と子どもたちの作った作品にとっても感動しました。たくさんさんのコーナーが設置されていて時間があっという間でした。楽しんでもらいたいという先生たちの思いがたくさん詰まっていて、自分たちはもちろん、周りのパパさん、ママさん子どもたちも楽しそうな姿を見て、心温まる1日になりました。

夏まつりでやっていたことを写真だけでなく、実際に見られてすごく楽しそうに遊んでいて私もすごく楽しかったです。体操を友だちと一緒にやっていたり、歌っているのを見て、大きく成長しているんだなどとても嬉しくなりました。「順番ね」「待ってね」という指示も聞けていることに驚きました。

子どもは少し緊張していましたが、だんだんと繋いでいた手を離して楽しそうに遊んでいました。

家でもよく歌っている「親子でメリーゴーランド」「おーいかばくん」「はなれないふたり」を実際に見ることができて感激でした。「○○くん一緒にやろう!」と誘っている様子に成長を感じました。

子どもたちの笑顔が絶えず、終始楽しそうな姿を見られて嬉しかったです★親も楽しめました!

かわいいし、ボリュームーでとっても美味しかったです!大満足!!

子どもがよく食べていて、味付けの参考としてお話やレシピをよりお聞きしたいと思いました。

子どもが大好きなポテト、唐揚げ嬉しかったです。私はさつまいものメニューがとても好きでした☺

ママと同じお弁当、レジャーシートという状況にとっても嬉しそうでした♪

とても美味しく、目でも楽しく感動しました。

ステキな会と貴重な時間をありがとうございました。何よりも、本人が楽しそうでとても印象に残っているようでした。

普段なかなか見ることができない、園での子どもの生活の一端を拝見することができ、とても子育ての参考になりました。

お弁当給食

「リゲルクラス ○○の 母です。」  
(クラス名) (お子さんのお名前) (お迎えの方)

ベガ

絵本「もこもこもこ」  
文研出版  
たにかわ しゅんたろう 作  
もとなが さだまさ 絵

わらべうた「かれっこやいて」  
かれっこやいて とつくらきゃしてやいて  
しょうゆをつけて たべたら うまからう

スピカ

絵本「わにわにのこちそう」  
福音館書店  
小風 さち 文・山口 マオ 絵

わらべうた「どてかぼちゃ」  
おらうちの どてかぼちゃ  
ひにやけて くわれない

リゲル

絵本「3ひきのごぶた」  
金の星社 イギリス民話より  
いもとようこ 文 絵

わらべうた「なべなべそこぬけ」  
なべなべそこぬけ そこがぬけたら かえりましょ

10月の自己評価

10月の目標

目標に対しての反省、今後に向けて

11月の目標

【0歳児】ベガ

○散歩に出掛け、戸外で色々なものを見たり、触れたりする。

○ハイハイやつたい歩き、歩行で好きなものや人に近づき、身体を動かすことの喜びや、人と関わる喜びを感じる。

○戸外では身体を動かしながら、どんぐりや落ち葉など保育者と一緒に自然に触れ、楽しんだ。また、拾った落ち葉を飾った。動きが活発になり、行動範囲が広がってきたので声をかけあった。

○室内遊びでは、シリウス組やスピカ組と一緒に遊び、子ども同士の関わりを楽しんだ。階段も手すりに掴り、登り降りしていった。製作は絵の具をビニールに入れて指先で感触遊びをしながら、ハロウィンおばけを作った。

○保育者の言葉が少しずつ分かるようになってきた。一方で自分の思いが通らないと表情や声や態度で表現するようになった。気持ちを受け止め、ゆったりと関わることを大切にしている。

○秋の自然物や身近なものへの関心を持ち、探索しようとする。

○信頼関係を深め、安心して気持ちを表そうとする。

【1歳児】スピカⅠ

○戸外遊びや散歩を通して、担任や友だちと十分に身体を動かして楽しむ。

○身の回りのことを自分でやってみようとする。

○片言や身振りで自分の思いやしてほしいことを担任に伝えるようにする。

○夏の水遊びから久しぶりの戸外活動へ行くようになった。よく歩けている。子どもたち同士の関わりが増えた分、手をつなぎ歩くことを喜び姿が見られている。

○戸外に行くようになり、身のまわりのことの流れが変わり、戸惑いも見られたが、繰り返ししていく中で身につく、意欲的に取り組む姿が増えてきた。子どもの意欲を大切にし、保育者も少し待ち、手を貸しすぎないで見守る時間を増やしていく。今は、ご家族に着替えのセットを用意してもらっているが、上着を着用するようになり、ズボンだけの着替えの際はロッカーから自分で取り出すようにしていく。まずは、食事後の着替えから保育者と一緒に取り組むようにする。

○自分の思いを主張し、伝えられるようになってきた。友だちとの関わりの中で正義感から叩く、押す、口が開く等の姿がでてきた。繰り返し言葉で伝えるよう知らせしていく。

○パズル、シール貼り、お絵かき等の卓上での遊びを楽しんでいるが、指先あそびがマンネリ化してきている。のりづけを製作で取り入れること、少人数のときはレンゲを使った新たな指先遊びを用意する等を検討している。

○11月から安全に留意しながら、1便、2便の保育者を入れ替えて活動していく。

○秋の自然物に興味を持ち、探索したり触れたりして遊ぶ。

○保育者を通して友だちとも関わりをもち、一緒に好きな遊びを楽しむ。

○生活の流れがわかり、身の回りのことを自ら行おうとする。

【1歳児】スピカⅡ

○秋の自然に触れながら、身体を動かして遊ぶ。

○身の回りのことに積極的に取り組みながら自信をつけていく。

○友だちと一緒に遊びを共有し、展開させていく楽しさを感じる。

○戸外活動が再開し、出掛ける前の朝の集まりでは保育者の話を良く聞いて、理解して行動に移すことができている。遊びから次の活動への切り替えも早くなり、生活の流れ、身の回りのこと、着替えや身支度を意欲的に行えてきた。必要以上に声をかけ過ぎず、自分で考えて動けるように見守っていく。着替えなど、できる、できないに個人差があるため、自分で袖を通すことから始めたい。チャックのかみ合わせをやろうとする子や脱いだ服を裏返してたたむ子もいることから、手先の動きが必要になるので、日々指先を使った遊び(ボタン遊び等)を誘っていく。

○仲のよい友だちができ、レンガ積み木と一緒に組み立てたり、役割を決めてごっこ遊びをしたり友だち同士の関わりが増えてきた。一緒に遊びたい気持ちがあるので1便と2便を少しずつ入れ替え、いろいろな友だちや保育者と関わるようにしてきた。

○公園でどんぐりを拾って楽しんでいる。自然物を使った製作につなげたい。

○行事や楽しみがあると頑張る姿がある。からだも気持ちも成長が見られることは、保育士の励みになっている。親子で遊ぶ会の楽しかった経験をそのまま終わりにしないように見立て遊び、ふれあい遊び、歌等の再現遊びにつなげたい。

○介助なく自分で食べ進められる姿が多く見られるようになったため、給食の指導食を開始。担任が同じテーブルに着き一緒に食事をする中で、会話が弾む様子や楽しい雰囲気や食事をする様子が見られている。継続していく中で、咀嚼の大切さや野菜のおいしさ、スプーンの持ち方・箸への興味が持てるよう関わっていく。

○気温差に留意しながら、健康に過ごせるようにする。

○身の回りのことを自分でやろうとする(服をたたむ)

○秋の自然に親しみながら、思い切り体を動かしたり散歩したりを楽しむ。

○見立て遊びを通して、友だちと言葉のやり取りを楽しむ。

○よく噛んで食べるようになる。

【2歳児】リゲル

○秋の自然に触れながら、身体を動かして遊ぶ。

○身の回りのことに積極的に取り組みながら自信をつけていく。

○友だちと一緒に遊びを共有し、展開させていく楽しさを感じる。

○急に気温が下がり、また天候不良の日が続いたためか、鼻水、軟便、発熱の子どもがいた。家庭内でインフルエンザもあり、健康面に留意した。

○戸外活動では、秋の自然に触れることを大切にしたい。特にどんぐりを集めては、容器を準備し、その場で音遊びへと広げて楽しめた。

○子どもの興味に添った手作り玩具が増えたので、雨の日も楽しく過ごせた。その玩具が音楽リズムや絵本へと子ども発信でつながり、豊かになった。

○生活面ではシリウスらしい、低年齢児が高年齢児から刺激を受けて身の回りのことに意欲的に取り組む姿があった。

○出産に伴う預かりについては、環境の変化をクラス内で共有した。柔軟に臨機応変に対応していきたい。

○11月は上着が増えるので衣服の着脱を丁寧に行っていきたい。クリスマス製作は期待感をもって楽しくすすめていきたい。

○ヒヤリハット7件:転倒3件、ひっかき1件、公園外出2件、その他1件

○転倒によるケガは鼻、口、前頭部と頭部に集中している。頭が重たいことが幼児の身体バランスの特徴であり、ケガにつながっている。戸外保育も多くなったが園内で3件である。また、公園外には数歩出たところで保育者が気がついた。大きな事故にはならなかったが、職員で情報を共有しつつ、対策をその日のうちに考えていく。

○安全点検安全計画:安全点検重点箇所「園内環境、保育玩具の点検」

○玄関のネジ1つはめ直す。保育室の玩具の点検と破損や修理は各クラス経過途中である。15日こども家庭庁より、福祉施設の安全対策強化の周知があり、18時半以降の施設に向けて調整中である。人感センサーライトの設置等、不審者対策強化が臨まれる

【3歳児】シリウス

10月の利用 のべ90名 0歳児2名/1歳児6名/2歳児7名 緊急4名/就労2名/私的4名

○急に気温が下がり、また天候不良の日が続いたためか、鼻水、軟便、発熱の子どもがいた。家庭内でインフルエンザもあり、健康面に留意した。

○戸外活動では、秋の自然に触れることを大切にしたい。特にどんぐりを集めては、容器を準備し、その場で音遊びへと広げて楽しめた。

○子どもの興味に添った手作り玩具が増えたので、雨の日も楽しく過ごせた。その玩具が音楽リズムや絵本へと子ども発信でつながり、豊かになった。

○生活面ではシリウスらしい、低年齢児が高年齢児から刺激を受けて身の回りのことに意欲的に取り組む姿があった。

○出産に伴う預かりについては、環境の変化をクラス内で共有した。柔軟に臨機応変に対応していきたい。

○11月は上着が増えるので衣服の着脱を丁寧に行っていきたい。クリスマス製作は期待感をもって楽しくすすめていきたい。

○ヒヤリハット7件:転倒3件、ひっかき1件、公園外出2件、その他1件

○転倒によるケガは鼻、口、前頭部と頭部に集中している。頭が重たいことが幼児の身体バランスの特徴であり、ケガにつながっている。戸外保育も多くなったが園内で3件である。また、公園外には数歩出たところで保育者が気がついた。大きな事故にはならなかったが、職員で情報を共有しつつ、対策をその日のうちに考えていく。

○安全点検安全計画:安全点検重点箇所「園内環境、保育玩具の点検」

○玄関のネジ1つはめ直す。保育室の玩具の点検と破損や修理は各クラス経過途中である。15日こども家庭庁より、福祉施設の安全対策強化の周知があり、18時半以降の施設に向けて調整中である。人感センサーライトの設置等、不審者対策強化が臨まれる

【子育て支援センター】ボラリス

利用状況 58組58名(10月24日現在) 園見学9組

身体測定:ひよこ1組ずつ丁寧に。10組 うさぎ、パンダ1組

ハロウィン製作:8組

おひさまDay:8組予約

お誕生日会:31日予定

今月のねらい「季節の行事を楽しむ。在園児と交流を図る」

○園見学も増え、センター利用者の中にも次年度保育園を考えている人も多い。初めて支援センターを利用される方も増えて0歳児の利用が増える。次年度を見据え保活をはじめの方も多く、支援センターの役割を感じる。身体測定の日を増やし、新規の方も利用しやすいように対応した。午後の時間もご利用いただけるよう声を掛けていく。

○ハロウィンの製作も簡単にできて仕上がりが満足の高いのだったので皆さんに喜ばれていた。ハロウィンはおひさまDayにつなげていきたい。

○嗜好調査アンケートを実施

○嗜好調査アンケートへの協力ありがとうございました。内容を取りまとめ、結果を配布予定。全体で共有しながら、12月の献立より反映し出来るところから取り入れていきたい。

○11月より展示食再開

○例年10月再開だったところ、気温気候を考慮し11月再開とさせていただきます。

○【リゲル】親子であそぼう会 お弁当給食

○夏祭りと同じようなメニューを保護者にも食べてもらえた。10月にさつまいも堀りがあったので、お弁当に大学芋風を入れたことは好評だった。作り方のメモを準備して、ご家庭でも味わってもらえるようにした。